

令和4年度 特別の教育課程の実施状況等について

大阪府		
学校名	管理機関名	設置者の別
大阪教育大学附属天王寺小学校	国立大学法人大阪教育大学	国立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学校名	特別の教育課程の編成の方針等の公表 URL
大阪教育大学附属天王寺小学校	http://www.tennoji-e.oku.ed.jp/research/

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学校名	自己評価結果の公表 URL
大阪教育大学附属天王寺小学校	http://www.tennoji-e.oku.ed.jp/school/guides/

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- 一部、計画通り実施できていない
- ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

特になし

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- 実施していない

<特記事項>

年度初めの4月に学校集会にて特別の教育課程に関する説明を行っている。また、10月には、保護者・児童の任意参加の防災宿泊訓練を行い、防災教育の啓発を進めている。

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本特例は、「ぼうさい科」の新設に合わせて、防災教育を全学年のカリキュラムとして系統的に位置づけるものである。また、令和2年度から取り組んでいるSTEAM教育のカリキュラムの中に位置づけるべく、各教科との関連をめざした。

それらの実践を全国的に発信する場として、2月に開催した対面方式での研究発表会にて「ぼうさい科の授業実践」を公開し、防災教育の意義について理解をえられた。

課題は、防災教育の推進のための学校組織体制、カリキュラム、教員の意識の向上など、より一層有機的な関連を進めることである。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本特例を実施したことにより、教職員の防災意識は高まっている。また、校内の備蓄用品の整備や、危険箇所の点検等を日常的に行うこともできるようになった。何より、非常時を意識して、教員個々の判断力が試されることになる「防災宿泊訓練」では、適切な判断をスピーディに行うことが求められるため、日頃からの意識の向上が必要になる。その結果、教員間の連携力、保護者とのコミュニケーション力も向上している。

本校の学校の教育目標は「個が生きる学校」であり、まさに、ひとりひとりの良さを発揮することができるのが、本校「ぼうさい科」の特徴となりつつある。

4. 課題の改善のための取組の方向性

学校のカリキュラムの中に「ぼうさい科」を位置づけていくことは、過去4年間行っている。コロナ禍によって、実施計画を一部変更したこともあったが、令和4年度は、計画どおり進めることができた。

また、本校はSTEAM教育も推進しており、ぼうさい科との関係を整理することを継続的な課題として取り組んでいる。そのカリキュラムをより具体化・明確化することによって、「ぼうさい科」の取組を広く周知させることができるのではないかと考えている。